

アカゲラ通信

2017年6月号
(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所



「レストハウス」営業中

「レストハウス」は営業時間 10 時～17 時で毎日オープンしています。

コーヒー、ソフトクリーム、肉まん、ポテトフライなどのスナック類やピラフなどの軽食をご用意して皆様のご利用をお待ちしております。

コルリ、おなじみのようでおなじみでない鳥

旭山で比較的よく囀りが聞かれるけれどあまり見られない鳥、コルリが今月のテーマです。

コルリはスズメ目ヒタキ科ツグミ亜科、全長 14cm、日本では夏鳥、北海道と本州中部以北で繁殖します。

●「大小比較」オオルリとコルリ

コルリと聞くとオオルリが思い出されますが、背中側が瑠璃色でお腹側が白、目から脇腹にかけて黒と、色合いは似ています。

しかし、オオルリは同じヒタキ科でも近い仲間ではなく、体型も違い、オオルリは体がやや立ち気味で頭が大きく、一方コルリは頭が細く体全体が流線型です。

またオオルリは樹上にいるのに対し、コルリは藪の中にいます。

オオルリ、コルリと名付けた昔の人は風流ですね。



●特徴は囀り

コルリの特徴はその囀りで、最初「ヒッヒッヒッ」と弱い音で鳴き、だんだん音が大きくなって、ついには弾けて大きな声で鳴きます。

その弾けた音も「チュピーチュピーチュピー」「ジュルリジュルリ」「チッチロチー」「カラカラカラ」と何種類かバリエーションがあります。

最後の音はコマドリの囀りに似ているので、両方いる場所では混同しないよう注意が必要です。



●生活は藪の中

コルリも先月号のヤブサメ同様笹藪の中で生活し、姿を見る機会が少ない鳥ですが、ヤブサメよりもさらに観察が難しく、旭山で年に3回見られれば運がいいというくらいです。

しかし今年はなぜか目にする機会が多く、囀りを聞く場所の数などから鑑みると、例年より数が多く来ているように感じています。



●曇りと雨の日は？

コルリは曇りと雨の日は笹藪の中ではなく少し高い木などで囀ります。

その理由は分かっていませんが、観察するチャンスではあります。

ただし、晴れた日にもそうすることがあるので、気分かもしれないですね。



●いつまでいるの？

コルリは「地鳴き」をほとんどしないため、7月に囀りをやめると接する機会がほとんどなく、存在が分からなくなくなります。

そのため、旭山のコルリがいつまでいるのか、まだ分かっていません。

図鑑によれば道内には 9 月まではいるようですが、囀りをやめると出くわす確率は限りなく低いので、一度はその幸運を味わいたいです。

コルリの囀りを聞きたい方はぜひ森の家までお越しください！

6月の野鳥観察会

★「早朝野鳥観察会」 6月 10 日(土) 朝 6 時 15 分開始。

★「旭山野鳥観察会」 6月 18 日(日) 朝8時開始。

各参加費 100 円(保険代)、定員:15 名(先着順)、電話または「森の家」でお申し込みの上ご参加ください。

2017年5月から6月の旭山野鳥情報

2017年5月に観察された鳥たちの特徴的な行動を幾つか★紹介します。

★キビタキ(右写真上):5/17 雄2羽が都市環境林で争いをしていました。互いに追いかけては逃げを繰り返し、その間「バチバチ」と羽で激しい音を立てていました。翌日そこに雄は1羽しかいませんでした。その後は、森の家周辺、風の丘付近、学びの森付近、第1駐車場上、ハルニレ広場周辺で2カ所、都市環境林広場、同ホオノキ散策路上と計8カ所で囁きが聞かれるようになりました。



★ホオジロ(右写真中央):5/20 雌が地面で巣材(毛や植物纖維)を集め、脇で雄が囁くという行動が見られました。ホオジロは巣作りは雌のみが行い雄は外敵の気を引くために周りで囁くことが調べて分かりました。



★センダイムシクイ:「焼酎一杯グイー」の囁きの他、「ヒッヒッ」という甲高い地鳴きと「ピチュルピチ」という変わった鳴き声がよく聞かれます。



★イカル:5/25に10羽+の群れ。5月中囁きがよく聞かれ6月も聞くことができます。

★ヤマゲラ:5月中旬から下旬森の家付近に頻出し、2羽で近くにいたこともあります。

◎その他囁きがまだ聞かれる鳥:●カワラヒワ●アオジ●メジロ●ヒガラ●オオルリ

●コルリ●クロツグミ●ウグイス●ヤブサメ

◎シマエナガ:巣がある場所(不明)付近以外ではほとんど見られなくなりました。

◎オオムシクイ:今年は5/23初認。例年6月中旬まで「キチッ ジジロジジロ」と鳴き声が聞かれますが今年は少ないです。

◎アオバト:桜の実がなると森の家近くの丘で実を食べる姿がよく見られます。

◎クマゲラ(右写真下):5月下旬から森の家の周りに頻繁に現れて餌をとるようになりました。

5月から6月の花トピックス



シラネアオイ
都市環境林の池の周り1カ所にだけあり今年も咲きました。



コケイラン
こちらも都市環境林に1カ所だけあり今年も無事花が咲きました。



クルマバツクバネソウ
都市環境林で1カ所だけ見られ今年は花も見られました。



エゾムラサキツツジ
毎年ひと株だけ花を咲かせる木がありますが、野生のものか植栽から逸出したものは不明です。



ミズキ
トイレ裏の若木が今年初めて花を咲かせました。



マイヅルソウ
今年も園内各所で花が見られました。



ベニバナイチヤクソウ
都市環境林の小さな群落もそろそろ開花。
詳しい場所は森の家までお尋ねください。



編集後記

蛇二態、左:アオダイショウ、右:ジムグリ。
5月は蛇に何度か遭遇しました(楽しかった)。
おなじみアオダイショウよく接する機会がありますが、
ジムグリは細くて弱々しくかわいい蛇です。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第43号 2017(平成29)年6月3日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話011-200-0311(土・日・祝日10時~16時) FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>